

第42回

発表：カン ミンギョン 准教授

高度教養教育・学生支援機構 言語文化教育センター
専門：言語学（ドイツ語学）

コーパスに基づくコロケーション分析と語義記述

5月30日（火） 12:10～12:50

（40分間：発表25分、質疑応答15分）

東北大学川内北キャンパス
川北合同研究棟 101ラウンジ

正午 P D (Professional Development) 会

ことばの意味について考える際、その最も基本的な単位は語ですが、実際の言語使用においては語と語の結びつき（すなわち、コロケーション）が重要な役割を果たしています。コロケーションはすでに古くから存在する概念ですが、電子コーパスと関連ツールの進歩に伴い、言語研究のみならず、辞典編纂や語学教育への応用の観点からも、近年ますます注目を集めています。

本報告では、ドイツ語のコロケーション分析ツールおよび事例を紹介し、他の言語の状況も含め、今後の課題について議論したいと思います。